

ろうさい ニュース

令和4年

5月号

第453号

当院に患者さんをご紹介くださっている先生方には、感謝申し上げます。

地域の皆様からの信頼に応え続けるために「アットホームなハイクラスの病院」を理念に取り組んでいます。



診療科の紹介

総合内科

平素より大変お世話になっておりまして、誠にありがとうございます。

総合内科は令和3年7月より、常勤医師2名で診療を行っております。診療内容は、種々の主訴で来られる患者様が、専門科（スペシャリスト）が必要かどうかの鑑別診断をすることがメインになっています。スペシャリストへのコンサルテーションが必要ない場合は、そのまま当科ジェネラリストが診療を続けることとなります。

症状（症候）としては以下の多くのものが考えられます。

頭痛、腹痛、胸痛、悪心・嘔吐、発熱＋発疹、意識障害、失神（前失神）、けいれん、喀血、吐・下血、腰背部痛、全身倦怠感、むくんでいる（浮腫）、熱がある（発熱、高体温）、体重が減った（体重減少、やせ、るいそう）、体重が増えた（体重増加、肥満）、筋肉のふるえ（振戦）、不随意運動、歩行に障害がある（歩行障害）、リンパ節腫脹、めまい、黄疸（白目が黄色っぽい）、目が見えにくい・二重に見える（視力障害・複視）、結膜が赤い（目の充血）、耳鳴りがする、難聴（聴力障害、耳痛）、鼻水がでる・鼻がつまる（鼻漏・鼻閉）、鼻血がでる（鼻出血）、喉が痛い（咽頭痛）、しわがれ声（嗄声）、飲みこみにくい（嚥下障害）、咳がでる（咳嗽、喀痰）、息が苦しい・呼吸時に音が鳴る（呼吸困難・喘鳴）、動悸がする、胸やけがする、食欲がない（食思不振）、お腹のはった感じ



総合内科部長
岩本 達治



総合内科副部長
東辻 宏明

(腹部膨満感)、腹部腫瘤、下痢・便秘(便通異常)、尿が近い・排尿時に痛みや違和感がある・残尿感がある(頻尿・排尿痛・排尿時違和感・残尿感・尿失禁・排尿困難)、尿が出ない(尿閉・乏尿・無尿)、尿が多い(多尿)、尿に血が混じる(肉眼的血尿)、不正性器出血、帯下の異常、手足がしびれる(四肢のしびれ、四肢の運動・知覚麻痺)、関節が痛い(関節痛)、関節が腫れている、かゆい(皮膚掻痒症)、急性の湿疹、うつ症状、睡眠障害(不眠、過眠)、幻覚・妄想、不安・恐怖、など、多彩です。

治療が必要な病気がないかどうか、調べていきます。診断のためには詳しい問診(+追加の問診)、身体所見のチェック、という極めて基本的なことが最も重要です。コモンな病気、アンコモンな病気、典型的なプレゼンテーション、非典型的なプレゼンテーションのX-Y軸で分けられる4事象のうち、アンコモン/非典型以外で考えられる疾患をいくつか挙げて、診断前確率をできるだけ上げて、検査(血液尿検査、画像診断)を行って病名を絞っていきます。診断が難しいケースや、何も異常が見つからないケースにも、しばしば出会います。

当科の特徴というより、最近の高齢化社会を反映して、患者様の多数が80才以上の高齢な方となっています。すなわち、老年医学が非常に重要な位置を占めています。老年医学の特徴としては

- (1) 患者様が複数の病態を背景にもっておられることがほとんどである点。マルチモビディティ(マルモ)の問題です。いくつかの慢性疾患各々が病態生理的に関連する・しないにかかわらず併存している状態で、診療の中心となる疾患を極めて治療し難い状態にしていることが問題となります。例えば、心房細動、慢性心不全、転倒傾向、糖尿病、慢性閉塞性呼吸器疾患(COPD)、うつ状態を伴うアルツハイマー型認知症の方は、どこの科がメインとなって診療するのか?多分、多科が協力して診ていくことになると思われます。
- (2) 患者様がすでに、沢山の種類の薬を飲んでおられることが非常に多いという点。ポリファーマシーは薬の有害事象のリスクとなり、特に転倒や骨折のリスクとなります。ポリファーマシーは種々の薬物相互作用を生み出し、薬物副作用を引き出します。病院で処方される以外にも、患者様は市販薬、漢方薬、サプリメントなども服用されている場合があることにも注意が必要です。服用数が増加すれば、薬物副作用も増加します。一般には薬剤を5~6種類以上服用している場合には減薬を行うひとつの目安となります。高齢者に限ったことではありませんが、先程かかげましたいかなる症候でも薬物の副作用の可能性を考えなくてはなりません。また高齢者はもともと、予備能が低いこと、肝・腎障害が併存することが多いため、薬物やその代謝産物が遷延しやすい、併存疾患(マルモ)が多く多数の薬剤を併用しやすいことから、薬物副作用が生じやすくなっています。1つの処方が副作用を介してその他の処方へ導くという負の処方カスケードにも注意する必要があります。ポリファーマシーは服薬遵守率を低下させるため、結局薬剤の効果を下げてしまいます。以上のようにポリファーマシーは老年医学では重要な問題であり、多科受診をしている高齢者の服薬をどの科が調整するか(薬剤師を含む)は非常に難しい問題です。

(3) 診療においてCGA（高齢者総合機能評価）が重要になってきている点。疾患や障害のある高齢者に対して医療・社会・精神心理・機能的観点から総合的に評価します。医学的情報、ADL、栄養状態、家庭環境など、多面的に情報収集・評価を行うことが必要になり、多職種チームで行われることが大切です。また、認知症・フレイル・サルコペニアを評価して診療にあたることが重要です。

総合内科の紹介、と言いましても、どの科の先生もご存じのような事しかしておりませんが、医学は日々進歩・変化しており、日頃から新しい情報には幅広くアクセスしていかなければ、すぐに知識としては古くなってきます。〈覚える〉よりは〈忘れる〉を基本形として、どこに自分の必要とする医療情報があるか、その場所さえ把握していれば、今はインターネットを使ってすぐに調べることができるので、大いに活用していかなければならないと思っています。

いつも貴重な症例を紹介していただいているクリニックの先生方におかれましても、基本的には総合内科（ジェネラリスト）的アプローチ、そのファーストタッチを行っていただいていることになると思います。先生方の、いつもと違う、なんとなく変である、という感覚が、ご紹介いただく場合大変助けになる情報です。今後とも、どうぞよろしくお願いいたします。

第50回浜松EAST医療連携セミナーを開催いたします。

- 日 時 2022年5月18日（水）19：00～20：25
- 場 所 浜松ろうさい病院 6階 大会議室
- 特別講演 19：10～19：30
座長：磐田市立総合病院 循環器内科 部長 松永 正紀 先生
「浜松ろうさい病院心臓血管外科 18か月の開心術の成績と最新の取り組み」
講演：浜松ろうさい病院 心臓血管外科 部長 島本 健
- 特別講演 19：30～20：15
座長：浜松ろうさい病院 心臓血管外科 部長 島本 健
「心不全治療で私がARNIを必要とする理由～新たな可能性も踏まえて～」
講演：富山大学医学部 内科学（第二）教授 絹川 弘一郎 先生

集合視聴及び個人Web視聴のハイブリッド形式で開催いたします。

会場での参加を希望される方は、別紙の申込用紙に必要事項を記入の上、地域医療連携室へFAXでお申込みください。

なお、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止に配慮し、会場での視聴は30名とさせていただきますので、御理解くださいますようお願いいたします。

■浜松ろうさい病院 令和4年5月外来担当医表

令和4年5月1日現在

診療科	月曜日		火曜日		水曜日		木曜日		金曜日	
	(午前)	(午後)	(午前)	(午後)	(午前)	(午後)	(午前)	(午後)	(午前)	(午後)
総合内科	イワモト タツツ 岩本 達治 ヒロシツツ ヒロアキ 東辻 宏明	—	ヒロシツツ ヒロアキ 東辻 宏明	—	イワモト タツツ 岩本 達治 ヒロシツツ ヒロアキ 東辻 宏明	—	イワモト タツツ 岩本 達治 ヒロシツツ ヒロアキ 東辻 宏明	—	イワモト タツツ 岩本 達治 ヒロシツツ ヒロアキ 東辻 宏明	—
腎臓内科 (外来10:00~)	オオタ タカユキ 太田 孝行(非)	—	—	—	タシロ タケシ 田代 傑(非)	—	—	—	シダ リョウタロウ 志田龍太郎(非)	—
内分泌代謝内科	—	—	ナカムラ トシヒロ 中村 聡宏(非) ※予約のみ	—	—	—	—	—	—	—
リマチ・膠原病科	—	—	—	—	—	—	—	ゴトウ ヨシノリ 後藤 吉規(非)	—	—
精神神経科	—	—	—	—	—	—	—	スギモト ヨウコ 杉本 洋子(非) ※予約のみ	—	—
呼吸器内科	トヨシマ ミキオ 豊嶋 幹生 ※予約・再診 カミヤ 百ウスケ 神谷 陽輔 ※初診	—	コウダ ナガトシ 幸田 敬悟 ※初診・再診	—	サトウ マサキ 佐藤 雅樹(非)	—	トヨシマ ミキオ 豊嶋 幹生 ※予約・再診 コウダ ナガトシ 幸田 敬悟 ※初診	—	カミヤ ヨウスケ 神谷 陽輔 ※初診・再診	—
呼吸器外科	—	—	—	—	フナイ カズヒト 船井 和仁(非) (第2・4週)	—	—	—	—	—
肝臓内科	—	—	—	—	—	—	モリシタ ムネオ 森下 宗自	—	—	—
血液内科	—	—	タケシタ アキヒロ 竹下 明裕(非)	—	—	—	—	—	—	—
消化器内科	外来	オオタ ユウジ 大田 悠司 マツウラ アイ 松浦 愛	—	タニ シンヤ 谷 伸也(非)	—	スギウラ ケイチ 杉浦 晋一(非)	—	タカノ リョウスケ 高野 亮佑	—	タカノ リョウスケ 高野 亮佑 ヨシダ ヒロユキ 吉田 裕幸
	※カメラは 完全予約制	IBD外来	—	ハナイ ヒロユキ 花井 洋行	—	ハナイ ヒロユキ 花井 洋行	—	ハナイ ヒロユキ 花井 洋行	—	—
	胃カメラ 大腸カメラ	高野・吉田 長尾・谷(非)	—	松浦・吉田 高野・吉田・小出	—	大田・高野	—	昭和六(非) 昭和六(非)	—	松浦・森下 大田・松浦
循環器内科	ハットリ リョウイチ 服部 隆一(非) 交代制 (常勤医)	—	ハットリ リョウイチ 服部 隆一(非) タカハシ マサアキ 高橋 正明(非)	—	カワモト アキラ 河本 章 イマナカ ミサコ 今中 雅子(非)	—	シノダ エイチ 篠田 英二	—	ヤマダ ミホ 山田 美保	—
神経内科	—	—	藤田(非)・月田(非) (交代制)	—	—	—	—	—	—	—
小児科	—	—	非常勤医師 (交代制)	—	—	—	—	—	—	—
外科	テラタニ ナオキ 寺谷 直樹 シバタ テサ 柴田 知佐	—	スミダ ヒトシ 隅田 仁 (交代制)	—	テラタニ ナオキ 寺谷 直樹 ナカムラ シュンスケ 中村 俊介	—	イノウエ ハルタカ 井上 立崇 (交代制)	—	イノウエ ケンタ 井ノ口 健太 (交代制)	—
乳腺外科	カガノイ シュンイチ 加賀野井純一	—	—	—	カガノイ シュンイチ 加賀野井純一	カガノイ シュンイチ 加賀野井純一	—	—	カガノイ シュンイチ 加賀野井純一	カガノイ シュンイチ 加賀野井純一
整形外科	初診	ナカヤマ ケン 中山 憲 ※予約のみ タバ ツヨシ 田場 健	—	コウモト マサアキ 河本 正昭 ナカヤマ ケン 中山 憲 ウケタ タケヒロ 舘田 雄大	—	イシカワ トモミ 石川 朋美 偶数週 中山 憲 コウモト マサアキ 河本 正昭	—	タバ ツヨシ 田場 健 コウモト マサアキ 河本 正昭	—	ウケタ タケヒロ 舘田 雄大 イシカワ トモミ 石川 朋美
	再診	—	—	—	—	—	—	—	—	—
形成外科	フクハラ サダコ 福原 定子	—	フクハラ サダコ 福原 定子 カキヌマ ショウタ 柿沼 翔太(非)	—	—	サイトウ ススム 齊藤 晋(非) (第2週) ※予約のみ	フクハラ サダコ 福原 定子	—	フクハラ サダコ 福原 定子 ワタナベ ヨシヒコ 渡邊 芳彦 カ丸 翼(非)	(言語外来) ワタセ ワカ 渡瀬 和香(非)
院長外来(形成外科)	—	—	—	—	—	—	—	スズキ シゲヒコ 鈴木 茂彦 ※予約のみ	—	—
脳神経外科	ウタナベ ヨシヒコ 渡邊 芳彦 マツダ アキヒデ 松田 章秀	—	タケナカ シュンスケ 竹中 俊介 マツダ アキヒデ 松田 章秀	—	タケナカ シュンスケ 竹中 俊介 非常勤医師 (第2・4週)	—	ウタナベ ヨシヒコ 渡邊 芳彦 非常勤医師 (第2・4週)	—	タケナカ シュンスケ 竹中 俊介 ウタナベ ヨシヒコ 渡邊 芳彦	—
心臓血管外科	ツマシロ シンイチ 津丸 真一	—	—	—	ニシザワ シュンイチ 西澤 純一郎 トモツカ サチエ 友塚 真栄	—	—	—	シマモト タケシ 島本 健 ニシザワ シュンイチ 西澤 純一郎 タケハチ マサユト 竹原 眞人	—
皮膚科	フナイ ナオコ 船井 尚子	フナイ ナオコ 船井 尚子	フナイ ナオコ 船井 尚子	ホンダ テツヤ 本田 哲也(非) (月1回・予約のみ)	フナイ ナオコ 船井 尚子	—	フナイ ナオコ 船井 尚子	フナイ ナオコ 船井 尚子	フナイ ナオコ 船井 尚子	—
泌尿器科	シミズ コウスケ 清水 浩介 モロイ セイジ 諸井 誠司	—	アラキ ヒロマサ 荒木 博賢 コボリ ゴウ 小堀 豪	—	清水(1・3・5週) 荒木(2・4週) モロイ セイジ 諸井 誠司	—	シミズ コウスケ 清水 浩介 コボリ ゴウ 小堀 豪	—	アラキ ヒロマサ 荒木 博賢	—
婦人科	オザワ ヒデチカ 小澤 英親	—	オザワ ヒデチカ 小澤 英親	—	オザワ ヒデチカ 小澤 英親	ミヤケ ワカバ 三宅 若葉(非)	アサヒナ トシヒコ 朝比奈俊彦(非)	—	イワキ タカユキ 岩城 孝行(非)	—
眼科	トリイ カオルコ 鳥居 薫子(非)	—	—	—	—	—	—	—	ナガセ ヤスノリ 永瀬 康規(非)	—
耳鼻咽喉科	—	—	タニガキ コウキ 谷上 田城 (非)	—	—	—	—	キタノ マサユキ 北野 止之 (非)	—	—
放射線科 (診断)	ヤマシタ シュウヘイ 山下 修平									
放射線科 (治療)	—	—	—	—	—	名市大(非)	—	—	名市大(非)	—
リハビリテーション科	スギヤマ ヒロユキ 杉山 宏行	—	スギヤマ ヒロユキ 杉山 宏行	—	杉山 宏行 ※予約のみ	—	スギヤマ ヒロユキ 杉山 宏行	—	杉山 宏行 (第2週休診)	—

● 青字は医師交替、赤字は診療時間の追加・変更部分になります。● (非)は非常勤医師となります。

■専門外来(特殊外来)

診療科	外来名	診療日	診療時間	備考	診療科	外来名	診療日	診療時間	備考
呼吸器内科	AST外来	月・木曜日	15:30~17:00	予約制	心臓血管外科	静脈瘤外来	月曜日	8:30~11:00	—
リウマチ・膠原病科	リウマチ・膠原病科	木曜日	13:30~17:00	予約制	泌尿器科	尿路結石外来	月・水曜日	13:30~16:00	予約制
循環器内科	A-S-X-カ-外来	木曜日	9:00~	予約制	女性泌尿器科外来	—	火曜日	8:30~11:00	予約制
	不整脈外来	金曜日	13:00~	予約制	リハビリテーション科	義肢装具外来	火曜日	10:00~	予約制
形成外科	小児形成外来	火曜日	9:00~11:00	予約制	健康診断部	—	月~金曜日	8:30~11:00	予約制
	手外科専門外来	第2水曜日	13:00~16:00	予約制					
	言語外来	第2・4金曜日	13:00~17:00	予約制					

独立行政法人 労働者健康安全機構 浜松ろうさい病院 地域医療連携室

受付時間 電話 053-411-0366 fax 053-411-0315

紹介患者の予約受付 月~金 8:15~18:00 土 9:00~12:00

